

構成・内容と学習指導要領の対照表

●3・4年

学年	ページ	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	配当時間
3・4年	1	わたしとけんこう	・内容の取扱い(8)	
3年	7~22	1章 けんこうな生活	・G 保健(1)ア, イ	4
	8	1. けんこうって、なに?	・(1)ア(ア), イ	1
	12	2. けんこうな1日の生活	・(1)ア(イ), イ	1
	14	資料 さらに広げよう深めよう	・(1)ア(ア)(イ), イ ・内容の取扱い(8)	
	16	3. 体のせいけつ	・(1)ア(イ), イ	1
	18	4. 身の回りのかんきょう	・(1)ア(ウ), イ	1
	20	資料 さらに広げよう深めよう	・(1)ア(イ)(ウ), イ ・内容の取扱い(6)	
	22	学習のまとめ	・(1)ア, イ	
4年	23~41	2章 体の発育と健康	・G 保健(2)ア, イ	4
	24	1. 変化していく体	・(2)ア(ア), イ	1
	28	2. 思春期の体の変化① ~体の外~	・(2)ア(イ), イ ・内容の取扱い(7)	1
	30	3. 思春期の体の変化② ~体の中~	・(2)ア(イ), イ ・内容の取扱い(7)	1
	33	資料 さらに広げよう深めよう	・(2)ア(イ), イ ・内容の取扱い(7)	
	34	4. よりよい発育のために	・(2)ア(ウ), イ ・内容の取扱い(6)(8)	1
	38	資料 さらに広げよう深めよう	・(2)ア(ウ), イ ・内容の取扱い(8)	
	40	学習のまとめ	・(2)ア, イ	
		合計		8

●5・6年

学年	ページ	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	配当時間
5・6年	1	わたしと健康	・内容の取扱い(9)	
5年	7~20	1章 心の健康	・G 保健(1)ア, イ	3
	8	1. 心の発達	・(1)ア(ア), イ	1
	12	2. 心と体の関わり	・(1)ア(イ), イ	1
	14	資料 さらに広げよう深めよう	・(1)ア(ア)(イ), イ	
	16	3. 不安やなやみなどへの対処	・(1)ア(ウ), イ ・内容の取扱い(2)(9)	1
	19	資料 さらに広げよう深めよう	・(1)ア(ウ), イ	
	20	学習のまとめ	・(1)ア, イ	
	21~38	2章 けがの防止	・G 保健(2)ア, イ	5
	22	1. けがや事故の起こり方	・(2)ア(ア), イ	1
	24	2. 学校や地域でのけがの防止	・(2)ア(ア), イ	1
	26	3. 交通事故の防止	・(2)ア(ア), イ	1
	28	資料 さらに広げよう深めよう	・(2)ア(ア), イ	
	30	4. 犯罪被害の防止	・(2)ア(ア), イ	1
	32	5. けがの手当	・(2)ア(イ), イ ・内容の取扱い(7)	1
	34	資料 さらに広げよう深めよう	・(2)ア, イ ・内容の取扱い(7)	
	36	● 自然災害から身を守る【発展】	・【(2)ア(ア), イ】	
	38	学習のまとめ	・(2)ア, イ	
6年	39~65	3章 病気の予防	・G 保健(3)ア, イ	8
	40	1. 病気の起こり方	・(3)ア(ア), イ	1
	42	2. 感染症の予防	・(3)ア(イ), イ	1
	45	資料 さらに広げよう深めよう	・(3)ア(ア)(イ), イ ・内容の取扱い(7)	
	48	3. 生活習慣病の予防①	・(3)ア(ウ), イ ・内容の取扱い(9)	1
	50	4. 生活習慣病の予防②	・(3)ア(ウ), イ	1
	52	資料 さらに広げよう深めよう	・(3)ア(ウ), イ ・内容の取扱い(9)	
	54	5. 喫煙の害	・(3)ア(エ), イ	1
	56	6. 飲酒の害	・(3)ア(エ), イ	1
	58	7. 薬物乱用の害	・(3)ア(エ), イ ・内容の取扱い(8)	1
	60	資料 さらに広げよう深めよう	・(3)ア(エ), イ	
	62	8. 地域の保健活動	・(3)ア(オ), イ	1
	64	学習のまとめ	・(3)ア, イ	
		合計		16

項目別特色一覧表

項目	特色
内容	①学習指導要領に示された内容を、児童の発達段階や興味・関心に即してわかりやすく具体化し、身近な生活との関連を図って、日常生活での 実践に結び付ける ことができるようにしています。 ②学習したことが単なる知識の習得に終わることなく、児童自らが学び、自ら考える「生きる力」を養い、 健康的なライフスタイルを確立 できるようにしています。
配列・分量	①各単元の配列は、児童の発達段階と教材の 系統性を考慮して、体系的に構成 されています。 ②原則1時間見開き1ページの構成としており、 各内容の分量をバランスよく配置 しています。
資質・能力の3つの柱への対応	①紙面に沿って学習を進めることで、 基礎的な知識・技能を確実に身に付けられる ようにしました。また、習得した知識を活用して考える活動を多く取り入れたり、自分の生活にあてはめて考える活動「学んだことを生かそう伝えよう」を毎時間の最後に設定したりして、 思考力・判断力・表現力を育める ようにしています。 ②章末に「学習のまとめ」を設け、 知識の確実な定着 、学びに向かう 態度の確認 、自己の生活と関連付けて 実践する力の育成 ができるようにしています。
主体的・対話的な課題解決学習を促す工夫	①巻頭や章扉、学習の進め方ページなど、児童の 学習意欲を高める 工夫を随所に入れてしています。 ②毎単元に「はじめに」「学んだことを生かそう伝えよう」の活動を設け、「自分ごと」として学習課題を捉え、 主体的な課題解決学習 を行えるようにしました。 ③ 言語活動の充実 を図るため、話し合い活動や記述する活動を多く取り入れました。 ④各学習活動の前にマークを付け、活動のしかたを明確に示しました。
興味・関心に応じて深い学びを促す工夫	① 教育の情報化に対応 し、教科書の紙面に二次元コード(QRコード)を配置し、関連した動画コンテンツを手軽に見ることができるようにしています。学習内容に広がりをもたせ、より深く理解できるように配慮しています。 ②学習内容を補足する情報を豊富に掲載するとともに、 調べ学習に役立つウェブサイト を随所で紹介しています。
現代的な課題への対応	①生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進を図っていけるように、 運動と健康との関連を重視 し、各学年で取り扱っています。 ② 食育、情報モラル、ICT機器の活用と健康、防災教育、共生社会の実現 などに対応した内容を取り扱っています。
他教科・他領域との関連	①運動領域の「体ほぐしの運動」や、 特別の教科 道徳 をはじめ、算数、理科、家庭、社会といった 他教科・他領域の学習との関連が図れる ようにしています。
家庭や地域社会とのつながり	①保健を学習する意義やねらい、学習内容を 保護者へのメッセージ として表紙に掲載しました。 ②学習の後も、 家庭や地域に関連して調べる活動を設定 し、実生活を見直したり、地域の人々との関わりを考えたることができるようにしています。
特別支援教育・ユニバーサルデザイン	①文章はわかりやすく、 簡潔な記述 にしています。特におさえない 基礎的・基本的事項は太字や色文字 で目立たせて、理解しやすくしています。 ②図版やグラフ等の配色は、だれにでも見やすいように カラーユニバーサルデザインに配慮 し、専門家の指導のもと編集をしています。 ③当該学年配当漢字や専門用語、当該学年以降に学習する漢字については、初出だけでなく都度ふりがなを付け、 児童の読みの負担を軽減 しています。 ④ 拡大教科書とデジタル教科書 を制作します。
判型	①A4判を採用し、使いやすさや見やすさなどを追求した、 使う人にやさしい教科書づくり を心がけました。写真やイラストを大きくして児童の興味・関心をひきやすくしました。 ②記入欄を大きくして、児童が 自分の考えを十分に表現 できるようにしました。
文字・印刷・製本	①標準的な教科書体を使用し、 発達段階に応じた文字の大きさ にしています。 ②印刷には 植物油インキ を使用しています。また、製本には針金を使用せず、堅牢性を保ちながら環境にも配慮しています。 ③表紙、本文ともに 再生紙 を使用しています。 ④児童の負担感の軽減のために、 紙の厚みを抑えて軽量化 を図っています。

構成・内容	特に意を用いた点や特色（教育基本法第2条との関連）	該当箇所
巻頭ページ	オリンピックやパラリンピックなどの様々な競技で活躍する選手が健康のために気を付けていることを提示することで、国際社会で活躍する選手との共通点に気づくとともに、興味や敬愛の念をもてるようにしました。(第5号)	3・4年 表2, p.1 5・6年 表2, p.1
オリエンテーションページ	「どうして学ぶの？」では、保健を学ぶ意義をストーリー形式で伝えることで、なぜ保健を学ぶのかを理解し、自分に必要な知識を身に付けるという自覚をもって学習に取り組めるようにしました。(第1号) 「どうやって学ぶの？」では、学びに向かう態度や話し合い活動の具体的な行い方を紹介することで、自他の意見を尊重し、協力しながら学びを深められるようにしました。(第1号・第3号)	3・4年 p.2 5・6年 p.2 3・4年 p.4, 5 5・6年 p.4, 5
章扉ページ	「章扉」では、各学年の学習内容を学ぶ意義をストーリー形式で伝え、なぜ学ぶのかを理解し、必要な知識・技能を身に付け、健やかな身体を養うという自覚をもって学習に取り組めるようにしました。(第1号)	3・4年 p.7, 23 5・6年 p.7, 21, 39
本文全体	自分の健康課題の解決のために、学習したことを使って考える活動を随所に配置することで、教科書での学びが日常生活と繋がっていることへの理解を深め、学びを持続できるようにしました。(第1号)	3・4年 p.11, 13, 17, 19, 27, 29, 32, 37 5・6年 p.11, 13, 17, 23, 25, 27, 31, 33, 37, 41, 44, 49, 51, 55, 57, 59, 63
	外部のウェブサイトや豆知識、他教科や他学年の学習との関連を紹介することで、学習内容に関連した幅広い知識を身に付けられる機会を増やすようにしました。(第1号)	3・4年 p.10～12, 16～18, 24～32, 34～37 5・6年 p.8, 10～12, 16, 18, 22, 24, 26, 27, 30～33, 36, 37, 40～44, 48～51, 54～57, 59, 62
	男女のキャラクターをバランスよく登場させることで、男女の平等や、性別に関係なく協力が大切であることを意識付けるようにしました。(第3号)	3・4年 p.8～40 5・6年 p.8～64
	「この人に聞く」コーナーでは、保健室の先生などからの知識をコメント形式で紹介することで、学習に広がりをもたせ、同時に保健の学習に関係のある職業を知り、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。(第2号)	3・4年 p.18, 26, 36, 37 5・6年 p.17, 18, 23, 25, 33, 44, 49, 51, 57, 59, 63
	「発展的な学習内容」を扱うことで、学習内容に即した幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度や健やかな身体を養えるようにしました。(第1号)	3・4年 p.15, 20, 25, 33, 35, 38, 39, 41 5・6年 p.14, 18, 19, 28, 29, 33, 34, 35, 36, 37, 47, 52, 55, 57, 60, 61, 65
	学習のまとめページ	学習したことの中から、自分の生活に最も生かしたいと思ったことを考えさせることで、自分の生活改善についての意識を高め、自律の精神を養えるようにしました。(第2号)
共に生きる社会のために	ヘルプマーク、マタニティマーク、白杖SOSシグナルなどのマークの意味を提示することで、他者への配慮や思いやりの心情を育て、道徳心を養えるようにしました。(第1号)	3・4年 p.41
	マークの意味だけでなく、自分でできることも合わせて提示することで、主体的に社会に関わる態度を養えるようにしました。(第3号)	3・4年 p.41
	世界共通のマークを提示することで、国際社会における共生の視点について気づき、場所を問わず思いやりの精神をもち、国際社会の平和に寄与する態度を養えるようにしました。(第5号)	5・6年 p.65
3年 けんこうな生活	「けんこうって、なに？」の活動では、自分の意見を考えた後に周囲の人の意見を聞いて記入する欄を設けることで、自他の相違点に気づき、多面的な見方を養えるようにしました。(第3号)	3・4年 p.10
	「けんこうな1日のせいけつ」「体のせいけつ」「身の回りのかんきょう」の活動では、健康な生活のために必要な1日の生活のしかたや環境の整え方についての学習を通して、自分の生活態度を見直し、自身の能力を伸ばし自律の精神を養えるようにしました。(第2号)	3・4年 p.12, 13, 16～19
	「学校でのほけん活動」では、学校の身の回りの環境を整える仕事をする人たちを紹介することで、保健の学習に関係のある職業を知り、勤労を重んずる態度を養えるようにしました。(第2号)	3・4年 p.21
4年 体の発育と健康	「変化していく体」の活動では、1歳と10歳の服や靴、大人と幼児の写真を提示し、自らの成長を振り返ることで、生命の尊さに気づけるようにしました。(第4号)	3・4年 p.25
	「変化していく体」「思春期の体の変化①②」の活動では、思春期における発育・発達には個人差があることや、個人の体験談を提示することで、自他の発育・発達の違いについての理解を深め、自他の個性を尊重する態度を養えるようにしました。(第2号・第3号)	3・4年 p.24～32
	「よりよい発育のために」の活動では、よりよい発育のために必要な運動、食事、休養・睡眠についての学習を通して、自分の生活態度を見直すことで、自身の能力を伸ばし自律の精神を養えるようにしました。(第2号)	3・4年 p.34～37

構成・内容	特に意を用いた点や特色（教育基本法第2条との関連）	該当箇所
4年 体の発育と健康	「新しい生命のたんじょう」では、精子や卵子が命のもとであることなどを紹介することで、生命の繋がりと尊さについて気づけるようにしました。(第4号)	3・4年 p.33
	「『性』についてのなやみ」では、自分の性自認及び性的嗜好について「他の人と違う」と感じる人が存在することを紹介することで、性の多様性についての理解を深め、自他の個性を尊重する態度を養えるようにしました。(第3号)	3・4年 p.33
	「体を動かそう」では、全身を使った運動例として昔遊びを提示することで、伝統的な遊びの有用性に気づき、伝統や文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第5号)	3・4年 p.38
5年 心の健康	「心の発達」の活動では、心が発達する様子を俯瞰的に提示することで、多くの人に支えられて自分が成長していること、自分の存在が他者の成長のための力や糧になっていることに気づき、豊かな情操を培い、自他の敬愛と協力の精神を重んずる態度を養えるようにしました。(第1号・第3号)	5・6年 p.10, 11
	「よりよいコミュニケーション」では、自分と相手の双方を大切にしたいコミュニケーションの在り方を提示することで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第3号)	5・6年 p.15
	「自分の見方を変えてみると…」では、自分の在り方を別の視点から捉え直すと違った姿や印象を発見できることを提示することで、自己肯定感を高めるとともに、個人の価値を尊重してその能力を伸ばせるようにしました。(第2号)	5・6年 p.19
5年 けがの防止	「けがや事故の起こり方」「学校や地域でのけがの防止」「交通事故の防止」「犯罪被害の防止」の活動では、人の行動と周りの環境から危険を予測し、安全な行動をとることを促すことで、自分の安全を確保できるようにするとともに、自分が他者に怪我を負わせる可能性にも気づき、正義と責任を重んじ、公共の精神に基づいて社会に参画する態度を養えるようにしました。(第3号)	5・6年 p.22～27, 30, 31
	「けがの手当」「自然災害から身を守る」の活動では、けがや災害時の行動を提示することで、自らの生命を守るだけでなく、他者の生命のためにできる行動があることに気づき、生命を尊ぶ態度を養うとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第3号・第4号)	5・6年 p.32, 33, 36, 37
	「自転車に安全に乗るために」「歩きスマホは危険!」「インターネットの正しい使い方」では、現代的課題を提示することで、自分の行動に責任をもち、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第3号)	5・6年 p.28, 29, 34
6年 病気の予防	「心肺蘇生とAED」「ASUKAモデル」では、AEDを使うことの重要性について触れながら、生命を尊ぶ態度を養い、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第4号・第3号)	5・6年 p.35
	「生活習慣病の予防①」「生活習慣病の予防②」「喫煙の害」「地域の保健活動」の活動では、学習を生かして周囲の人へのアドバイスを考えたり、学習したことを周囲の人に伝えたりすることで、自他の敬愛を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する精神を養えるようにしました。(第3号)	5・6年 p.48～51, 54, 55, 62, 63
	「喫煙の害」の活動では、禁煙場所の理由を考えさせることで、多くの人と互いを尊重し合い、どのように共生していくのかという思考を促すとともに、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第3号・第4号)	5・6年 p.54, 55
	「結核」「エイズ」「新しい感染症と再び注目された感染症」「『がん』のことを知ろう」「運動不足と生活習慣病」「目を大切に」「危険ドラッグに注意!」では、現代的課題や近年身近になってきた疾病等を提示することで、当事者への配慮や理解を深め、生命を尊ぶ態度を養えるようにしました。(第4号)併せて幅広い知識と教養を身に付け、豊かな道徳心を培えるようにしました。(第1号)	5・6年 p.46, 47, 52, 53, 60

上記の記事事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第5条に示す義務教育の目的や学校教育法第21条に示す義務教育の目標を達成するために以下のことについて配慮しています。

- ①学校教育法21条「第4号」における、「家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業その他の事項について基礎的な理解と技能を養うこと」に関連して、右記の内容を掲載しています。

※衣、食、住について	▶けんこうな1日の生活(3・4年p.12～13)、▶体のせいけつ(3・4年p.16～17)、▶身の回りのかんきょう(3・4年p.18～19)、▶よりよい発育のために大切な栄養(3・4年p.36)▶食中毒(5・6年p.43)、▶生活習慣病の予防①②(5・6年p.48～51)
※情報について	▶インターネットを使うときの注意(3・4年p.5, 5・6年p.5)、▶スマートフォンやタブレットの使い方と生活リズム(3・4年p.15)、▶インターネットの正しい使い方(5・6年p.34)
- ②学校教育法21条「第8号」における、「健康、安全で幸福な生活のために必要な習慣を養うとともに、運動を通じて体力を養い、心身の調和的発達を図ること」に関連して、右記の内容を掲載しています。

※運動について	▶これも運動!(3・4年p.14)▶運動量(3・4年p.35)▶体を動かそう(3・4年p.38)▶運動不足になると…。(5・6年p.49)▶運動と生活習慣(5・6年p.52)
※心身の調和的発達について	▶よりよい発育のために(3・4年p.34～37)▶ゴルフで広がったわたしの人生(5・6年p.14)▶ストレスは悪いもの?(5・6年p.19)